



男女平等参画推進ニュース



中島 恵理副知事とのランチミーティング(意見交換会)開催 -2月3日(金)-

2月3日(金)、第1回男女平等参画推進委員会において、中島 恵理 長野県副知事と連合長野男女平等参画推進委員によるランチミーティング(意見交換会)を開催し、キャリアアップと家事・育児との両立、男性の育児参画について、日頃抱えている悩みや想いなどフリーに意見交換しました。当日は、中島副知事の他にも、長野県から労働雇用課と人権男女共同参画課の課長・担当にも出席いただき、長野県の施策への意見提案をしました。



《中島副知事からのアドバイスなど》

- 県としても、各企業で両立支援制度が定着するよう、経営者・管理職の男性に働きかけていく
- 女性同士のネットワークが大切。一緒にランチしたり、悩みを共有しながら勉強会や意見交換することが重要なアクションとなる
- 男性のトップや管理職と女性の皆さんがざっばらんに話し合いできる場づくりも必要である



長野県の取り組みをしっかりと注目していきたい

《委員会のメンバーからの要望》

- 女性活躍といっても、職場は男性の働き方がモノサシになっており、男性と同じ働き方が求められてしまう
- 職場の課題を改善していくときには、女性自身がしっかりとした問題認識や強い想いを持たないと、改革が進まない

「3.8国際女性デー」長野県行動を実施 -3月4日(土)・3月8日(水)-

長野駅・松本駅の2か所で「3.8国際女性デー」の街頭行動を行いました。今年は、長野だけでなく、松本広域地協との合同により松本でも行うことができました。例年、女性デーのシンボルであるバラの花を配付していましたが、今年は、バラとパンをもったかわいいキャラクターをデザインしたオリジナルクリアファイル各500個を配付しました。リレーアピールでは、男女平等参画推進委員が全員、街宣車の上で、セクハラ・マタハラ被害の防止や男性の育児参加など、男女平等社会の実現に向けて訴えました。



長野駅前：3月4日(土)



松本駅前：3月8日(水)



クリアファイルは、「とてもかわいい♡」と、高校生から年配の女性まで、とても好評でした。

街頭の方からは、「頑張って下さい!」と応援の声も!

委員会作成のオリジナルクリアファイル



Q&A 教えて!ユニオニオン

国際女性デーって?

1908年3月8日、ニューヨークで15,000人の働く女性たちが、低賃金・労働条件に抗議して、デモ行進したのが始まり。1975年に国連が「3月8日」を「国際女性デー」に定めた。3月8日には、世界中の女性たちが、パン(最低限の生活)とバラ(女性の尊厳)を掲げて行動、連合は1996年から春季生活闘争の一環として全国一斉で統一取り組みを実施してるよ。

